

山梨県歯科医師連盟**連盟ニュース 第69号**

□発行

山梨県歯科医師連盟 甲府市大手1-4-1

TEL: 055-252-6481 FAX: 055-253-0854

□発行人 一瀬 明 HP: <http://ydpf.jp>

□編集人 一瀬 明・馬場 康二

山梨県歯科医師連盟機関紙

山田 宏 参議院議員**(職域代表候補予定者/日本歯科医師連盟顧問)**

山田宏参議院議員は、令和2年10月30日に日本歯科医師連盟評議員会において、次期参議院議員選挙の職域代表として推薦されました。

山田議員は、これまで歯科医療の重要性を国政に届け、歯科界に特に様々な実績を残してきました。そして、令和3年6月16日に山田宏議員を中心に「国民皆歯科健診実現議員連盟」を発足させました。(入会者は、令和3年8月23日現在で121名。)会長に古屋圭司衆議院議員、山田宏議員は事務局長に就任しました。最高顧問に、伊吹文明元衆議院議員、安倍晋三元総理大臣、尾辻秀久元厚労大臣(歯科議連会長)が就任し、万全の体制を整えての発足となりました。

そして今般、岸田政権のもとでの初の自民党「政権公約」に初めて「生涯を通じた歯科健診の充実(国民皆歯科健診) <中略> を進めます。」との文言が記載されました。自民党公約は「政権公約」として重点政策を掲げ、その他の政策課題は「政策BANK」にまとめられてきましたが、「政権公約」に歯科の文言が入ったのは初めてのことです。政権公約の中の「『全世代の安心感』を創出する」との項目にある4行の医療公約に歯科関連では唯一「国民皆歯科健診」が記載されたのです。ここに至るには予算委員会での質問や歯科口腔医療勉強会を含む様々な要望活動などの積み重ねにより、連続5年にわたり「骨太の方針」に「生涯を通じた歯科健診の充実」という文言が記されてきたことが大きな大義になったと思います。

総選挙の結果、自民党が引き続き政権を担うことになり、自民党は党としての国民への約束を果たす義務が生じます。「国民皆歯科健診」の実現は、議連という議員の任意団体の目標から政権政党の公の目標となりました。

高校までの義務化の歯科健診を全国民が年1回受診するような制度に整え、かからなくてもいい病気にかからず、病気になっても重篤化しないことで国民の健康寿命を伸ばし、ひいては国民皆保険制度を維持していくことは、来年から団塊世代の方々が後期高齢者の仲間入りされていく、今この時期に進めるべき最も重要な国家課題なのだと、山田議員は記述されています。

数多くの実績、歯科医療の重要性を国政に届けている山田議員にこれからも期待したいと思います。

<情報提供：令和3年9月15日、11月15日 日歯連盟広報『歯科医でない「歯科議員」が挑む』⑩、⑪参議院議員 山田宏より抜粋>



【山田宏公式HP】

<https://www.yamadahiroshi.com>